

第Ⅱ期 冬期研修会参加申込み書

参加者の資格

会 員	非 会 員
-----	-------

 ※当てはまる方に○を付けて下さい。

氏名			勤務先名 所属など		
自宅 住所	〒			電話	
希望する講座 ○を付ける	9日		10日	午前午後のみ受講はできませんのでご了承ください。	
研修講座の内容 についてご希望 があればお書き ください					

申し込み先：e-mail haon@sea.plala.or.jp

FAX 011-299-7311 (宛先 畠山 貴代志)

「学会北海道支部のホームページをご覧ください」

http://www.geocities.jp/jascg_hokkaido/

※従来のURLでも見ることができます。

申し込み方法：FAX、e-mailのいずれかで12月20日までに
お申し込みください。

- FAX、メールでの返信はいたしません。人数が大変多くなり、ご遠慮していただく場合のみ、ご連絡を差し上げます。
- 過去の研修会は予定通り実施していますが、災害や悪天候等の理由で実施が不可能となった場合、やむを得ず内容を変更または、中止にすることも考えられます。あらかじめ、ご了承願います。
- 参加費は当日会場でお支払いください。

参加費……会 員 (1日目…1,000円、2日目…1,000円)

非会員 (1日目…2,000円、2日目…2,000円)

当日渡される研修修了証は、学校カウンセラー資格や他の資格取得のために必要になります。大切に保管しておきましょう。

平成25年度 日本学校教育相談学会北海道支部

第Ⅱ期 冬期研修会 案内

主催 日本学校教育相談学会北海道支部
 後援 北海道教育委員会、札幌市教育委員会

研修テーマ：「今、子どもたちとどう向き合っていますか」

「寄り添うことは和みである」と言う方がいます。「寄り添う」という言葉は、何か「あたたかみ」を感じさせる言葉で、そこには、相手を大切に思う「こころ」が感じられます。相手の気持ちに配慮しながら、そして共にいることを大切にしながら、そっとお互いの存在を感じ合っているのだと思います。今の子どもたちが「寄り添ってもらっている」「大切にしてもらっている」と実感できるような向き合い方をいっしょに考えてみませんか。

日本学校教育相談学会北海道支部理事長
 東北・北海道ブロック全国理事
 畠山 貴代志

日時：平成26年**1月9日(木)・10日(金)**

【受付】09:30~09:50 【研修】10:00~16:30 (1日目のみ15:30)

会場：**札幌エルプラザ4階中研修室**

(札幌市北区北8条西3丁目) 札幌駅北口直結

1月9日(木) ソーシャルスキルトレーニング 講座

受付	10:00~12:00	昼食	13:30~15:30
9:30	「クラス環境を整えるSST」 前嶋深雪先生	12:00 ~13:30	「生きる力の育成と SSTの活用」 前嶋深雪先生

1月10日(金) 子どもの命を守る 講座

受付	10:00~13:00	昼食	14:30~16:30
9:30	「子どもの命を守るために」 佐藤由佳利先生	13:00 ~14:30	事例検討会 事務局担当

*今回は懇親会を行いません。

平成25年度 冬期研修内容

- ①研修テーマ ②研修内容 ③講師紹介

【1】前嶋 深雪 (まえしま みゆき) 先生

①クラス環境を整えるSST (ソーシャルスキルトレーニング)・生きる力の育成とSSTの活用

②午前・午後ともに、SST (ソーシャルスキルトレーニング) を活用する利点と手法について、実演 (模擬授業等) をまじえながら、ご紹介いたします。

～「SST (ソーシャルスキルトレーニング) とは？」の定義から、その必要性と可能性、授業展開の仕方について、また、集団や学級の力を利用したSSTとはどのようなものなのかについてお伝えしつつ、学び合っていきたいと考えています。

③星槎教育研究所研究員・星槎大学大学院講師・東京学芸大学特任講師

慶應普通部、海城中学校高等学校での国語科非常勤を経て、星槎教育研究所研究員に。SSTの教材開発・研究を担当。平成21年4月にU-SSTワーク (日本標準) 刊行後、各地でSST研修講師 (小学校ほか) を行っている。

【2】佐藤由佳利 (さとう ゆかり) 先生

①子どもの命を守るために

②生きる力を持ち、他者への思いやりをもつ子どもになってほしいと、だれもが願う。しかし、子どもの自殺も、いじめの問題も取組が難しい。その背景にあるものは何なのだろう。改めて、私たち大人の生きる意味と姿勢を問い、そこから子どもたちが自らの生きる意味を見出していく過程を探っていきたい。

③北海道教育大学大学院学校臨床心理専攻教授

上智大学大学院文学研究科教育学専攻博士前期課程修了。教育学修士。臨床心理士。北海道教育大学教育実践総合センター助教授、北海道教育大学大学院教育学研究科学校臨床心理専攻准教授を経て、2010年より現職。現在、札幌市スクールカウンセラー、北海道犯罪被害者等支援計画策定委員会委員、札幌市 社会福祉審議会委員、日本臨床心理士会代議員、日本心理臨床学会代議員

主な研究テーマ「被災地におけるスクールカウンセラーの二次的被害」「ユング派の流れをくむプロセスワーク」「虐待・DV・災害などによる被害者支援」「包括システムによるロールシャッハ法」近著*ワールド・カフェ方式による事例検討会の提案 (単著)「気になる子とかかわるカウンセリング」 (共著)「対人援助者の条件」 (共著)

学校カウンセラー資格認定、ガイダンスカウンセラー資格についてのお知らせ

日本学校教育相談学会では、『学校カウンセラー』という資格を認定しています。資格認定事業もスクールカウンセラー派遣制度の拡充とともに広がりを見せ、現在700名以上の方が資格を取得しています。資格取得者は全国各地で活躍しています。

資格取得には、学校カウンセラーとしてふさわしい研修を受け、研修修了書が必要になります。「学校教育相談に関する理論」「心理臨床に関する理論」「学校教育相談の技法に関する理論と演習」など北海道支部でも複数の研修内容を設定しておりますので参考にしてください。資格取得の条件など、事務局にお問い合わせください (学会ホームページにも説明があります)。

また、学校カウンセラーの資格を得ると学校心理士、学校カウンセラー、キャリアカウンセラー、教育カウンセラー、認定カウンセラー、臨床発達心理士の6資格の上位概念の「ガイダンスカウンセラー資格」を得ることが可能です。詳しくはJGCAスクールカウンセリング推進協議会のホームページ等をご覧ください。

学会入会申し込み、資格認定などにつきましては

事務局長 木村幸恵 (高等聾学校) kakimaru3150@yahoo.co.jpまでお問い合わせください。

各地区の幹事の方をご紹介します。

研修会の講師など、困った時にはお近くの担当の方へご相談下さい。

